

R7年度 とうきょうすくわくプログラム 活動報告書

足立区立鹿浜こども園

テーマ「水」と「土」

子どもの「やりたい」をじっくりみると…

園庭で泥だんごを作って遊んでいると…「どうやったら固まるんだろう」「こっちの砂を使うといいよ」「水をちよつとずつ入れていくといいかな?」「一回、土を粉々にしてみようか」などと、繰り返しあそびをすすめる中で、どうやったら満足できる泥だんごができるのか?と疑問がうまれました。

子どもたちの「やりたい!!」という気持ちを叶えながらこの活動をすすめたことで、私たち保育者は子どもたちが見ている世界や思いに気づくことができました。

講師は、和泉短期大学 教授 松山 洋平氏です。年に7回、園内研修の中で、公開保育を行い、保育の振り返りや協議会を行ってきました。

探求活動の実践



砂場にたくさんの砂が届きました。足で踏んで、手で触って感触を楽しんでいます。
さあ次は何して遊ぼうかな。

砂の感触を思う存分感じて、全身を使い遊びを楽しんでほしいという願いがありました。

「泥だんご やりたい」
でも外は暑いなあ…

泥だんごをお部屋でも楽しめるよう
保育室にブルーシートを敷いて道具
を運んでみると…



「水を少なくすると
こんなに硬くなったよ」

お花や葉っぱを入れてすりすりすり。
「ジュースができたよ」



『あそぼう花壇』(草や花が植えてあり自由に遊べる場所)に
透明カップやすりこぎなど、道具を置いてみました。すぐ
に、使いたいものが手に取れるようになり、色水遊びが広
がりました。

泡遊びに夢中！
「いらっしゃいませ！ケーキ屋さん 開店です」

じっくりと泡作りを楽しんでいた子ども達は、泡の形状が変化するたびに驚いたり発見したりしながら探求心を育んできました。



ランチルーム開店！
たくさん遊んでお腹すいたね！
「ごはん 食べに行こう！」



満足するまで楽しんだ後の給食は、格別においしい時間です。生活や遊びの見通しももてるようになりました。

お姉さんって優しいな！
「私が教えてあげるね！」

お兄さんお姉さんの遊びを見て「何やっているのかな？」
「おもしろそう！」「やってみよう！」と興味をもち、異年齢での関わりから興味や関心が広がりました。また、憧れの気持ちが大きくなり、わからないところは教えてもらったり一緒につくったりする姿も増えました。



～ じっくり探求を楽しんだら ～

発見！試行錯誤！ 子どもと保育者一緒にわくわく

子どもと一緒に保育者もじっくりと遊びを楽しむことで、子どもに寄り添いながら「やりたい！」気持ちも大きくなりました。

第1園舎と第2園舎

第1園舎、第2園舎の交流を今まで以上に行ってきました。

異年齢での関わりが以前より増え、年下の友達に優しい気持ちをもったり、年上の友達に憧れの気持ちをもったりするようになりました。

今までは外の遊び、室内の遊びと固定概念をもっていた「水」や「土」の遊びを、子どもの姿から職員がより積極的に【やってみよう！】というチャレンジの1年間でした。

次年度は、子どもの「わくわく」「やってみたい」に合わせた環境をさらに見直していきながら、本物との出会いを大切にしていきます。